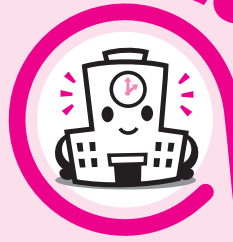


# つながる



## 学校と家庭の学び

# 6年間の記録「マイカード」で 子どもの夢や希望を育む

### 北海道美瑛町立美瑛東小学校

美瑛町立美瑛東小学校では、目標を持ち、その実現に向けて努力し続ける子どもを育てようと、1年生からキャリア教育を行っている。従来の教育活動をキャリア教育の視点で再構築し、子どもが自分の成長を感じられる「マイノート」に取り組むことで、将来に目を向ける子どもが増えていると評判。

子どもが達成感を得られるよう  
学期ごとの目標と成果を蓄積

美瑛町立美瑛東小学校は2011年度、キャリア教育に力を入れ始めた。その目的を、古木勉三校長は次のように説明する。

「小学校のキャリア教育が目指すのは、他者への思いやり、自分の役割に対する責任感など、社会で求められる力の育成です。更に、子どもが将来に夢や希望を抱くようになることも目標の1つだと、私は考えています。実現に向けて努力する楽し

さを知ってほしいと思い、活動を工夫しています」

キャリア教育に取り組むにあたり、従来の教育活動の見直しを行った。学年ごとの教育活動を、文部科学省がキャリア教育で育む基礎的・汎用的能力として掲げる「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」に当てはめ、再構築したのだ(図1)。そのねらいを、倉博之教頭は次のように話す。

「キャリア教育の基礎的・汎用的能力は、教科指導を含めた全ての教

育活動で育むべき能力だと思っています。

それらを整理し可視化することで、各教育活動が子ども将来にどのようにつながるかを考えて指導するということに、先生方の意識が変化していくことを期待しています」

同校の取り組みの柱は、活動の記録となる「マイノート」だ。全ての子どもにファイルを1冊ずつ配布し、次の3種類のカードをとじることでつくり上げていく。

1つめは「目標カード」(P.30図2)。「がんばりたいこと」「将来の夢」などを各学期の初めに書く。

2つめは、「ふりかえりカード」。学年ごとに決めた教育活動について、目標や反省点、感想などを書く。

3つめは「自己評価カード」(P.30図3)。学期末に「目標カード」や「ふりかえりカード」を見ながら、学期内の自分の行動を4段階で評価し、自覚している自分の変化を書く。各カードは子どもの発達段階に応じて内容が進化する。低学年では学校生活への適応や自己を知ることが中心だが、中学年では友だちとのかわり、高学年では集団の中での自己の役割と責任などの視点加わる

という具合だ。

「マイノート」は卒業まで使い、6年分のカードを蓄積する。その意義について、4学年担任でキャリア教育推進担当の吉川克幸先生は話す。

「『マイノート』を見ると、これまでに自分がどのような目標を立て、その実現に向けて何をしてきたかが一目で分かります。子どもが自分の成長を感じられれば、更に高い目標を抱き、実現するために努力を続けるようになるでしょう。目標を達成できていなくても、自分で立てた目標ですから、何がいけないのかを確かめ、『もっと頑張ろう』と思うはずです。子どもの気持ちを前向きにしてくれるノートだと考えています」

「マイノート」は北海道教育委員会上川教育局が進める取り組みだが、同校は子どもが書きやすいように、アレンジを加えた。例えば、「どう書いたらよいか分からない」という子どもが多かった「自己評価カード」は、負担を減らそうと記述欄を少なくし、評価項目の文言を子どもに分かりやすい表現に改めた。

また、2つ以上の教育活動について書くことが奨励されている「ふりかえりカード」も、いくつにするか

は担任に任せ、運動会や学芸会などの行事を振り返ることを勧めた。

「行事は子どもにとって楽しい活動であり、目標を立てることや達成することに真剣になるため、有意義な振り返りが出来ます。また、我々教師にとっても、キャリア教育の意義を理解する取り掛かりとして適していると思います」（吉川先生）

### 家庭との連携を強め 取り組みを更に充実させたい

キャリア教育を始めて3年目に入り、将来に目を向ける子どもが増えてきた。13年度の文部科学省「全国学力・学習状況調査」では、6年生のほぼ全員が「将来の夢や希望がある」と回答したという。

## 北海道美瑛町立美瑛東小学校

◎1971（昭和46）年開校。北海道中央部の田園地帯に位置する。2011年度、北海道教育委員会から「マイノート」開発協力校に指定されて以来、キャリア教育に力を入れている。また、家庭で何を学習すればよいかを発達段階に応じて具体的に示した「家庭学習のしおり」を子ども全員に配布するなど、家庭学習の習慣化を目指した取り組みも盛んである。

**校長** 古木勉三先生  
**児童数** 147人  
**学級数** 12学級（うち特別支援学級6）  
**所在地** 〒071-0201  
北海道上川郡美瑛町丸山2-8-15  
**TEL** 0166-92-1205  
**URL** なし



美瑛町立美瑛東小学校校長

### 古木勉三

ふるき・べんぞう

「子ども一人ひとりをしっかり見取り、秘められた可能性を引き出したい」



美瑛町立美瑛東小学校教頭

### 倉 博之

くら・ひろゆき

「子どもとも保護者とも先生方とも、誠実に向き合っていきたい」



美瑛町立美瑛東小学校

### 吉川克幸

よしかわ・かつゆき

4学年担任、キャリア教育推進。「褒める時も叱る時も全力を尽くしたい」



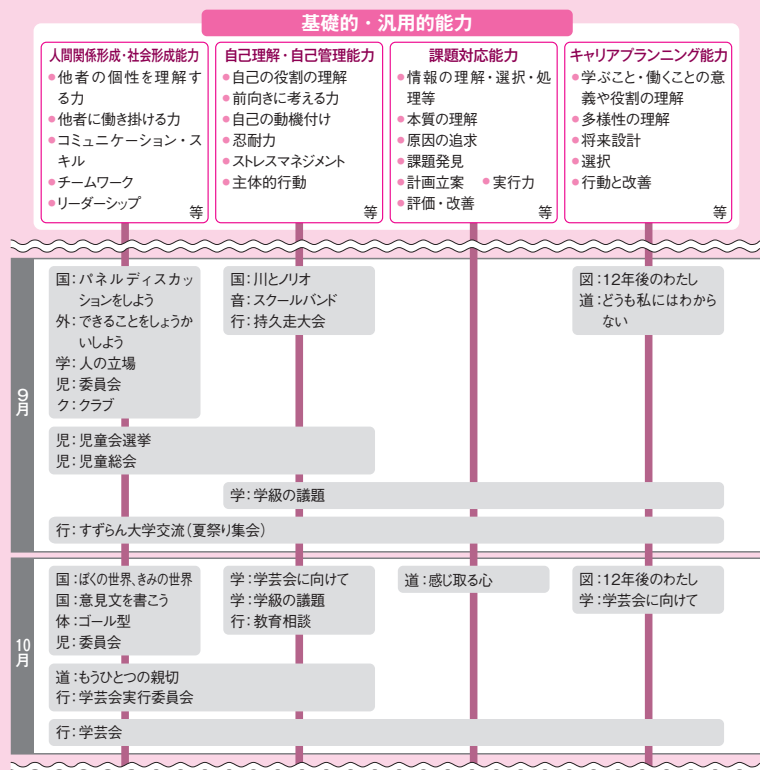
美瑛町立美瑛東小学校

### 二階堂めぐみ

にかいどう・めぐみ

教務主任。「教師が元気に明るく接すれば、子どもは心からの笑顔を返してくれる」

図1 キャリア教育年間計画表（6年生）



4つの基礎的・汎用的能力をどの教育活動で伸ばせるかを抽出し、学年ごとに一覧化。「国」は国語、「学」は学級活動、「行」は行事というように、教育活動の種類を略称で表している  
\*同校の資料を基に編集部で作成

図3 自己評価カード(中学年用)

キャリア教育アンケート(中学年用) 年 番 \_\_\_\_\_

☆ 今学期の生活を振り返って、当てはまる番号(1～5)を記入し、1～5を○をつけてください。

| 項目                                                | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------------------------------------------------|---|---|---|---|---|
| ア ① 友達や学校の先生、保護者の話をよく聞き、その人の考えや気持ちをわかるようとしていますか。  | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| ② 相手の話がわかりやすいよう、工夫して、自分の考えや気持ちを話すようにしていますか。       | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| ③ 自分から仕事を任された時、友達と協力して行なっていますか。                   | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| ④ 自分の好きなことや得意なこと、よいところや悪いところをわかりますか。              | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| イ ⑤ 遅れている理由ややりやめが分からない時でも、自分ができるだけよいことをがんばっていますか。 | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| ⑥ 少しづつ苦手なことで、自分から進んで取り組めますか。                      | 4 | 3 | 2 | 1 |   |
| ウ ⑦ わからぬこととして、                                    |   |   |   |   |   |
| ⑧ 困った時、                                           |   |   |   |   |   |
| ⑨ 困った時、                                           |   |   |   |   |   |
| ⑩ 困った時、                                           |   |   |   |   |   |
| エ ⑪ 「入会」                                          |   |   |   |   |   |
| ⑫ 入会                                              |   |   |   |   |   |
| ⑬ 入会                                              |   |   |   |   |   |

※ 1・2学期に出た結果にマイノートを書き添えて、自分の気持ちや行動に記入をお願いします。

ア わすれものでもおぼろげに覚えて、いざという時に、おぼろげに覚えておける。

イ 遅れている時でも、がんばってやる。

ウ 先生から 4月からは 1年生に比べて、自分のことにはよく、学校のためにがんばるお仕事をがんばります。

エ 先生から 4月からは 1年生に比べて、自分のことにはよく、学校のためにがんばるお仕事をがんばります。

評価欄は、4つの基礎的・汎用的能力を細分化した12項目について、自己評価を4段階で書く。記入欄は、1・2学期は次学期で頑張りたいこと、3学期は1年間の振り返りと次の学年で頑張りたいことを書く

\*同校の資料をそのまま掲載

図2 目標カード(中学年用)

年 級 番 名 前 \_\_\_\_\_ 年 月 日 \_\_\_\_\_

【3学期】

☆ 3学期にがんばりたいことや将来の夢について、それぞれ書いてみましょう。

① 友達と協力して取り組むこと！  
一つのことけんかやあらまわしをしないこと、  
自分ひとりでつらいことを我慢すること。

② 学習活動や委員会活動でがんばりたいこと！  
そうじの時は、すばやくゴミを集めること、  
自分の立場におくれたらないこと。

③ 興味のある仕事や将来の夢！  
将来の夢はケーキ屋さんになること。

3学期 努力したいこと！いままで習った勉強を  
わすれないように、よく勉強する。

2学期に書いたことを振り返ってから書きましょう。

記述内容は発達段階により異なり、例えば「友だちと協力して取り組みたいこと」は、低学年では「がっこうせいかつのなかでがんばりたいこと」、高学年では「学級の仕事や委員会活動で挑戦したいこと」となる

\*同校の資料をイラストを削除して掲載

将来に対する子どもの関心を更に高めるために、保護者への情報発信にも力を入れる。12年度には、ロケットを開発する地元企業の経営者の講演会を授業参観日に行い、努力することの素晴らしさを保護者にも聞いてもらった。また、古木校長が年度初めに保護者総会で夢を持つことの大切さを話したり、学校だよりで子どものなりたいたい職業と理由を紹介したりして、保護者からの働き掛けも呼び掛けている。このように家庭との連携を強めていくことで、取り組みを充実させていきたいと、教務主任の二階堂めぐみ先生は話す。

「子どもにとって最も身近な社会人である保護者と、夢や希望について話すことで、子どもは自分の将来に更に目を向けるようになるはずだ。『目標に向かって頑張ろう』という気持ちも高まると思います」

古木校長は、今後について次のように話す。

「本校のキャリア教育は始まったばかりです。先生方も保護者とも密接なコミュニケーションを図り、一丸となって、子どもたちが夢や希望を持てる環境を整えていきたいと思っています」

## キャリア教育や、学習法をサポートする 6年生向けの副教材を無料でご提供します

ベネッセは2007年度から「家庭学習に関する冊子」などを先生方やご家庭に無料で提供する「学び応援プロジェクト」を実施しております。2012年度は、のべ約15,000校から約160万冊ものお申し込みをいただきました。

2013年度は、6年生の児童向けに、キャリア教育の授業で自分の将来について考え、中学以降につながる「学ぶ意欲」と「自分でできる自信」を育むサポートをします。ぜひ貴校の教育活動にお役立てください。ただ今、事前予約を受付中です。詳しくはホームページまたは本誌同送のチラシをご覧ください。

学校&家庭 学び応援プロジェクト ホームページ <http://www.benesse.co.jp/manabiouen/>

未来に進むちからを育むプロジェクト。  
ベネッセの学び応援

締め切り

2013年

12/20

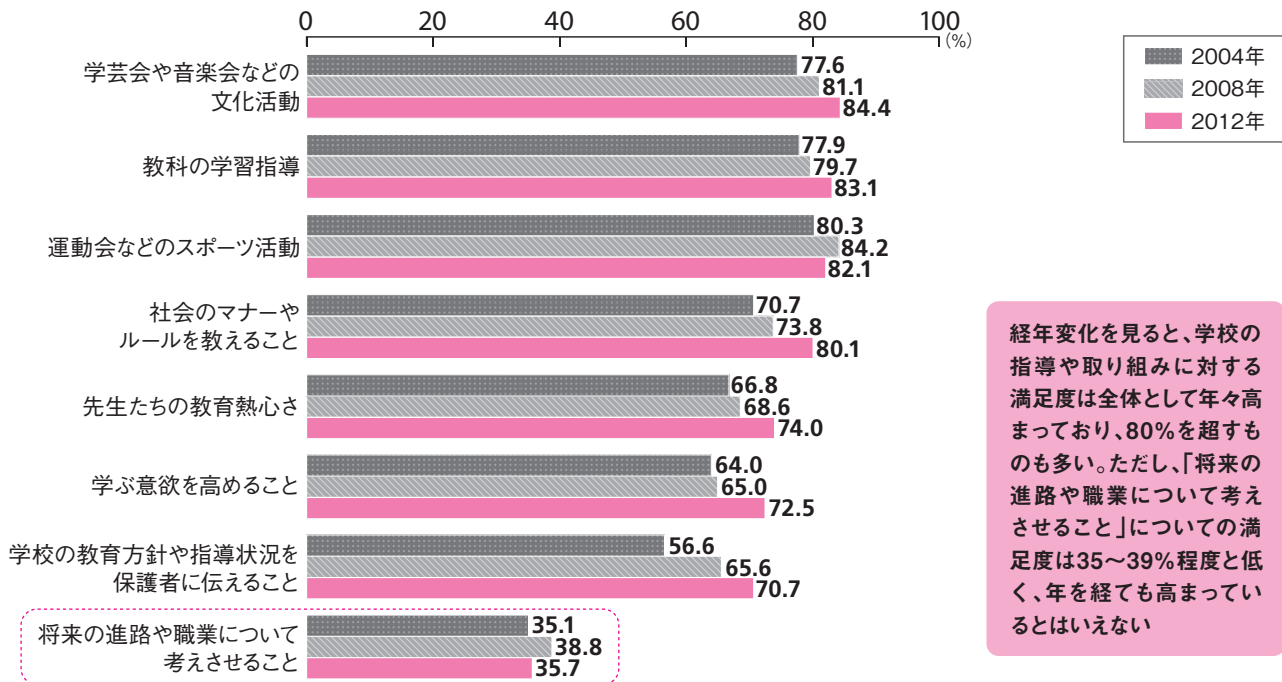
金





## 保護者のキャリア教育に対する満足度は高くない

学校の指導や取り組みに対する満足度 (回答: 全国の公立の小学2年生、小学5年生の子どもをもつ保護者)



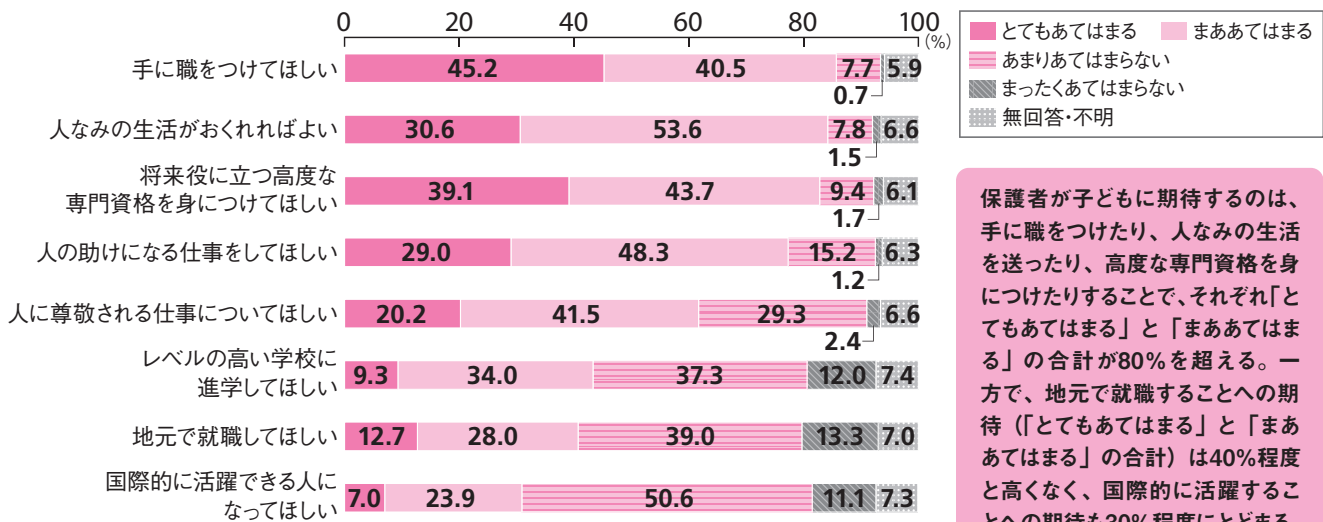
経年変化を見ると、学校の指導や取り組みに対する満足度は全体として年々高まっており、80%を超えるものも多い。ただし、「将来の進路や職業について考えさせること」についての満足度は35~39%程度と低く、年を経ても高まっているとはいえない

注1) 数値は「とても満足している」と「まあ満足している」の合計

注2) 経年比較が可能な11項目中、一部を抜粋して紹介

## 保護者の子どもへの期待は手に職をつけること

子どもの将来に期待すること (回答: 全国の公立の小学2年生、小学5年生の子どもをもつ保護者)



保護者が子どもに期待するのは、手に職をつけたり、人なみの生活を送ったり、高度な専門資格を身につけたりすることで、それぞれ「とてもあてはまる」と「まああてはまる」の合計が80%を超える。一方で、地元で就職することへの期待（「とてもあてはまる」と「まああてはまる」の合計）は40%程度と高くなく、国際的に活躍することへの期待も30%程度にとどまる

注1) 数値は2012年調査

注2) 11項目中、一部を抜粋して紹介

出典: ベネッセ教育総合研究所「学校教育に対する保護者の意識調査2012」(2013)

調査時期は、2004年調査は2003年12月~2004年1月、2008年調査は2008年3月、2012年調査は2012年11月~2013年1月、調査対象は、2004年調査は全国の公立の小学2年生・小学5年生の子どもをもつ保護者4,106人、2008年調査は全国の公立の小学2年生・小学5年生の子どもをもつ保護者3,348人、2012年調査は全国の公立の小学2年生・小学5年生の子どもをもつ保護者3,938人、調査方法は学校通しによる家庭での自記式質問紙調査



上記の関連データはコチラ!

<http://berd.benesse.jp/>

\*「調査・研究データ」コーナーをご覧ください